

# 社内木鶏感想用紙

127 回目

2024 年 10 月 29 日

10 月号

名前

タイトル: この道より我を生かす道無し この道を歩く

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

誰もが知る和食の神様 道場さんと世界のホームラン王の王さんの対談はそれぞれがその道を極められた人だけに学びの多い対談記事でした。 その中でも2つの言葉が私の心に残りました。

一つ目は道場さんが言われた「小さな勇気」です。何事に関してもやらなければいけない事がわかっていても、面倒くさかったり、いい子ぶっているようで恥ずかしがったりし行動に移せない事が多いですが、勇気をもって行動することが必要だという事が分かりました。

二つ目は王さんが言われている「若いときは自分自分と生きてきましたが、色々な壁にぶつかっているうちにやっぱり世の中は人で成り立っているんだな」という言葉です。

私も以前は自分の事は自分でしか対処できない、自分が自分がと考えていましたが、年をとって色々な経験をしたり、致知を読むようになったりしたため、ここ最近人は皆お互いが支え合いながら人生が成り立っているの、自分の周りの人たちに感謝しなければいけないと考えるようになりました。但し感謝の気持ちが有ってもなかなか言葉にできていません、言葉にしないと伝わらないので言葉にする努力をしないといけないと思います。

最後に、王さんが三十代の時に致知が有ればよかったと言われていています。私もまったくの同感です。もっと早くに出会えていればと思いますが、人生まだまだこれからですので、一生勉強の気持ちで人間学を学んでいきたいと思っています。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと

# 社内木鶏感想用紙

2024 年 10 月 29 日

10 月号

名前

タイトル: この道より我を生かす道なしこの道を歩く

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

道場さんの93歳にして尚、高みを目指して倦まず弛まず歩んでいく姿には頭が下がります。

お二人の対談からこれからの人生を歩んでいく上で大切な事に気付かされました。小細工をせず、答えを

出すまでの過程で努力する事、王さんの言ったこの言葉は、イチローさんがかつて“遠回りが1番の近道だ”

と言われてますがそれと同じでやはり沢山の努力無くしては本物にはならないんだと改めて感じました。

お二人とも言われているのが、お客さんを大事にされているところで見られている意識を常に持ち、

喜んでくれる笑顔を見るために日々の努力を惜しまない姿勢は学ぶべき姿だと思いました。

逆境を跳躍台と捉え神様から与えられた試練なのだと受け止め一段ずつ乗り越えていく事がその人の

成長に繋がっていくという考え方、物事は、捉え方次第でこんなにも受け止め方が変わるのだと思いました。

そして、小さな勇気という言葉は、私にとっても響きました。日々の生活の中で、面倒だなあと思う事が沢山

ありますが一歩動き出せば早く終わるので後回しにせず仕事も家庭も小さな勇気を持って

取り掛かろうと思います。日々の感謝を忘れず、お客様の立場に立って事前準備をしっかりと日々の

業務にあたっていきたいと思います。

## ②仲間の発表を聞いて気付いた事

# 社内木鶏感想用紙

2024 年 月 日

月号

名前

タイトル: この道より我を生かす道なしこの道を歩く

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

料理と野球、それぞれの道を一筋に歩み続けたきたお二方の対談はとても興味深い内容でした。違う業界で活躍されているお二方にはいくつかの共通点があります。

まず何事も第一にお客さんの事を考えて行動されている事です。

そして決して小細工などをしない事。人間どうしても本質的に見栄を張ったり

楽をしようとはしますがお二方は真摯に向き合ってきたのだと思うと尊敬の言葉以外

見つかりません。他人に良く見えられたいからではなく、本当に歩んできた道を愛して

いるからこそその芯の強さ、優しさがあるのだと思います。まさに学ぶべき人間学で

あると感じました。王さんの言葉で野球というのは1人だけが活躍して勝てるわけじゃない

それぞれ役割があり裏方さんも含め組織のメンバー全員が志を共有して思いを一つに

することで強いチームになっていく。特に志を共有する、この言葉が良いと思いました。

仕事でも私生活でもたとえ一緒の方向を歩んでもお互いの志を共有していなければ

分かり合えない事もあります。違う環境で生きてきた者同士分かり合えないことも

ありますが、お互いが相手に耳を傾け思っている事、考えている事を聞き事が大切だと

思います。周りをよく見て行動できる人間になりたいと思いました。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと